

的外

みのる法律事務所便り

第362号

令和2年6月



みのる法律事務所
弁護士 千田 實
〒021-0853
岩手県一関市字相去57番地5
TEL : 0191-23-8960
FAX : 0191-23-8950



い な べ ん だ べ ん く
田舎弁護士の駄弁句

⑦1

アメリカだ 中国だと 擦り合う

しめたと独り 笑うコロナかな



令和2年6月1日
青空浮世乃捨

「新型コロナウイルスを発生させたのは、中国だ」などと言うアメリカトランプ政権。「新型コロナウイルスを拡大させたのは、アメリカだ」などと言う中国習政権。それを見て、「しめた」と独りほくそ笑む新型コロナウイルス。こんな絵が浮かんできます。

新型コロナウイルスは異人類です。この異人類と闘い、これを撲滅させるためには、国の枠など取り払って、人類が一致団結して、新型コロナウイルスという異人類と闘わなければならないのです。

それにもかかわらず、世界の大国を自負するアメリカと中国とが、この体たらくです。みっともないと言わざるを得ません。人間のぶざまな姿を見せられている気がします。

人類の指導者を、自認するトランプも習も「大統領でいたい」、「国家主席でいたい」という自分の欲望のために全人類のことなど忘れ去

っている姿は、人間というものが、いかに強欲で馬鹿な動物か改めて知らされました。



このようなアメリカと中国の、新型コロナウイルスに関する罪の擦り合いを見せられ、これでは新型コロナウイルスがほくそ笑んでいると思えてならないのです。

新型コロナウイルスは、この先アフリカや南米などで感染拡大しないとは言いきれません。第2波、第3波が来ないとも断言できません。国の枠など取り払い、全人類が一致団結しなければならないのです。

トランプ大統領は、「中国寄りのWHOを脱退する」などと叫んでいますが、『コロナウイルスと9条⑩』の「天の声を語る」で紹介したように、「いまの難局を乗り切るには、WHOとは違って、強制力を持つ、臨時の政府が欠かせない」と元英首相の提言は、いよいよ重みがありますね。

国の枠など取り外して、世界連邦を早く創れ、と新型コロナウイルスは語っているように思うのですが、その天の声が聞こえないのでしょうか。

安倍首相は、トランプさんの盟友を気取っているようですが、このような時こそ、「今は、国と国とが争っているときではない。人類と異人類の闘いの最中だ。アメリカも中国もなく、異人類である新型コロナウイルスに立ち向かいましょう。」と言ってやってほしいものです。

まあ、無理でしょうね。自分の頭の高ささえ追い払えそうもないようですよね。

い な べ ん だ べ ん く
田舎弁護士の駄弁句 ⑦②



国境は 人が勝手に 決めたもの

係わり知らぬ コロナウイルス

令和2年6月1日

青空浮世乃捨

国をつくり、国境をつくったのは、人間です。新型コロナウイルスには全く係わり知らないことです。新型コロナウイルスは、どの国の人には感染するが、どの国の人には感染しない、など言うことはないので。

人間の身体があれば、そこを住まいにして拡大していくのです。この国の人かなどということは、新型コロナウイルスは眼中にないのです。肌の色が白くとも黒くとも、黄色であっても全く関係がないのです。新型コロナウイルスの近くに人間の身体があれば感染するので。

新型コロナウイルスとの戦いは、国と国とが武力を使って人類対人類とが闘う戦争とは全く異なる戦争です。人類と異人類との戦いです。アメリカ人と新型コロナウイルスとの戦いでもなければ、中国人と新型コロナウイルスの戦いでもないのです。

一時、中国や韓国では感染が止まったごとく報道されたり、日本の緊急事態宣言が解除されたりしていますが、アフリカや南米などはこれから感染拡大が懸念されます。そういうことになれば、再び中国や韓国や日本も感染拡大するかも分かりません。一旦、終息したように

見えたって、第3波、第4波が来ないとは限りません。新・新型コロナウイルスが来ないとも限りません。

人類対異人類との戦いにおいて、人間が勝手につくった国や国境の枠を取り除いて、全人類が一致団結して戦わなければならないのです。

新型コロナウイルスは、どこの国か、どこの国民か、などということとは係わり知らぬことなのです。世界共通の新型コロナウイルス対策本部が早急に必要です。

下の絵は、世界中の子供達が手を繋いでいる絵です。トランプアメリカ大統領も、習中国主席も、この子供達に笑われないような行動を取ってほしいのです。自分の地位のために、この子供達の幸せを奪うことのないように立派な大人の行動を取ってほしいのです。

それにしても、権力を欲しがる人というものは厄介なものです。分かり切ったことを振じ曲げる、権力の座にしがみついていたいたいですね。





コロナウイルスと 9 条



「コロナウイルスと 9 条」と題して、「三陸新報」(宮城県気仙沼市、株式会社三陸新報社)に投稿しましたところ、令和 2 (2020) 年 4 月 22 日から同年 5 月 31 日まで 10 回に亘って連載されました。

それをお読みになった皆様から、「もっと広く世の中に知ってもらった方がよい」というありがたいお言葉を頂戴しました。広く世の中に知ってもらいかどうかはともかく、この事務所便り「まとはずれ的外」をお読み戴いている皆様だけには、お読み戴きたいと思いました。

そこで、みのる法律事務所の事務局が、三陸新報に掲載された文面を、この事務所便りサイズに直し、本号に転載することにしました。

三陸新報の記事をお読み下さった皆様は、書いた私に言うのですから当たり前ですが、「その通りだ」とか、「全国紙にも掲載すべきだ」等と言ってくれる方が大勢いました。大変ありがたいお言葉を頂戴しました。この事務所便りをお読み下さる皆様は、どのようなご感想をお持ちになるか、興味があります。

私の考え違いも少なからずあると思いますので、ご指摘・ご指導戴ければ、幸甚です。どうぞ、ご感想をお寄せ下さるようお願い申し上げます。

私の連載が終わった後、新型コロナウイルス問題を巡って、トランプアメリカ大統領政権と、中国習国家主席政権との間に、罪のなすりあいのようなやりとりが続いています。

これでは、「国の枠を取り外して、人類を挙げて異人類である新型コロナウイルス撲滅に邁進すべきである」という私の主張等、実現される見込みはないようです。トランプアメリカ大統領も、自分の選挙を考え、習国家主席も自分の立場を考え、互いに責任のなすりあいをしているだけのようです。本当に「嘆かわしい」の一言です。

投稿

道によると、世界中

4月4日の新聞報

響を与えるように

なつた。

私の身の回りに

は、意義深いこ

と。

そこで、「コロナウ

イルスと9条」と題

して、思うところを

述べる。この時だか

らこそ、この問題を

語らば、結論を言

えば、人類同士で

ある。

昭和20(1945)

年8月に、広島と長

崎に原爆が投下され

た以降の地球上は、

戦争をしたら、人類

は滅亡する状態と

なった。戦争をする

の船を取つており、

嘆かわしいという他

に言葉がない。それ

を許している各国の

国民に、いかげん

に気付かなくてはい

けない。日本には、世

では、コロナウイル

ス感染者は100万

人を超え、死者5万

人を超えたこと

だ。いまや、コロナウ

イルスという異人類

と人類との闘いとい

う様相を呈した。

人類と人類とが

国と国とが武力を

使つて争うという、

戦争の枠を超えたレ

ベルとなつてきた。

こういう状況の中

で「人類同士で、国

と国とが武力を使っ

て争う」という戦争

の意味と、その戦争

の放棄をつたつた

日本国憲法9条の意

味を見直してみろこ

とは、意義深いこ

と。

そこで、「コロナウ

イルスと9条」と題

して、思うところを

述べる。この時だか

らこそ、この問題を

語らば、結論を言

「2020新春の集

い」で「戦後75年と

憲法9条」と題して

講演したのは、20

20年2月9日だ。

3月28日には「一

関文化センター」で

の法律事務所の方

業美術事務長の「改

正民法の出版記念講

演会」を予定し、多

くの方から出席のこ

回答をいただいた。

3月16日になつ

て、延期の通知を発

せざる得ない状況に

陥つた。その理由

は、コロナウィル

ス問題は、中国か

ら全世界に広がる

私の身の回りに

は、意義深いこ

と。

そこで、「コロナウ

イルスと9条」と題

して、思うところを

述べる。この時だか

らこそ、この問題を

語らば、結論を言

「2020新春の集

い」で「戦後75年と

憲法9条」と題して

講演したのは、20

20年2月9日だ。

3月28日には「一

関文化センター」で

の法律事務所の方

業美術事務長の「改

正民法の出版記念講

演会」を予定し、多

くの方から出席のこ

回答をいただいた。

3月16日になつ

て、延期の通知を発

せざる得ない状況に

陥つた。その理由

は、コロナウィル

ス問題は、中国か

ら全世界に広がる

私の身の回りに

は、意義深いこ

と。

そこで、「コロナウ

イルスと9条」と題

して、思うところを

述べる。この時だか

らこそ、この問題を

語らば、結論を言

「2020新春の集

い」で「戦後75年と

憲法9条」と題して

講演したのは、20

20年2月9日だ。

3月28日には「一

関文化センター」で

の法律事務所の方

業美術事務長の「改

正民法の出版記念講

演会」を予定し、多

くの方から出席のこ

回答をいただいた。

3月16日になつ

て、延期の通知を発

せざる得ない状況に

陥つた。その理由

は、コロナウィル

ス問題は、中国か

ら全世界に広がる

私の身の回りに

は、意義深いこ

と。

そこで、「コロナウ

イルスと9条」と題

して、思うところを

述べる。この時だか

らこそ、この問題を

語らば、結論を言

「2020新春の集

い」で「戦後75年と

憲法9条」と題して

講演したのは、20

20年2月9日だ。

3月28日には「一

関文化センター」で

の法律事務所の方

業美術事務長の「改

正民法の出版記念講

演会」を予定し、多

くの方から出席のこ

回答をいただいた。

3月16日になつ

て、延期の通知を発

せざる得ない状況に

陥つた。その理由

は、コロナウィル

ス問題は、中国か

ら全世界に広がる

私の身の回りに

は、意義深いこ

と。

そこで、「コロナウ

イルスと9条」と題

して、思うところを

述べる。この時だか

らこそ、この問題を

語らば、結論を言

「2020新春の集

い」で「戦後75年と

憲法9条」と題して

講演したのは、20

20年2月9日だ。

3月28日には「一

関文化センター」で

の法律事務所の方

業美術事務長の「改

正民法の出版記念講

演会」を予定し、多

くの方から出席のこ

回答をいただいた。

3月16日になつ

て、延期の通知を発

せざる得ない状況に

陥つた。その理由

は、コロナウィル

ス問題は、中国か

ら全世界に広がる

私の身の回りに

は、意義深いこ

と。

そこで、「コロナウ

イルスと9条」と題

して、思うところを

述べる。この時だか

らこそ、この問題を

語らば、結論を言

「2020新春の集

い」で「戦後75年と

憲法9条」と題して

講演したのは、20

20年2月9日だ。

3月28日には「一

関文化センター」で

の法律事務所の方

業美術事務長の「改

正民法の出版記念講

演会」を予定し、多

くの方から出席のこ

回答をいただいた。

3月16日になつ

て、延期の通知を発

せざる得ない状況に

陥つた。その理由

は、コロナウィル

ス問題は、中国か

ら全世界に広がる

私の身の回りに

は、意義深いこ

と。

そこで、「コロナウ

イルスと9条」と題

して、思うところを

述べる。この時だか

らこそ、この問題を

語らば、結論を言

いいかげんに気づいて

千田 實

「コロナウィルスと9条

①

「2020新春の集

い」で「戦後75年と

憲法9条」と題して

講演したのは、20

20年2月9日だ。

3月28日には「一

関文化センター」で

の法律事務所の方

業美術事務長の「改

正民法の出版記念講

演会」を予定し、多

くの方から出席のこ

回答をいただいた。

3月16日になつ

て、延期の通知を発

せざる得ない状況に

陥つた。その理由

は、コロナウィル

ス問題は、中国か

ら全世界に広がる

私の身の回りに

は、意義深いこ

と。

そこで、「コロナウ

イルスと9条」と題

して、思うところを

述べる。この時だか

らこそ、この問題を

語らば、結論を言

えば、人類同士で

ある。

昭和20(1945)

「2020新春の集

い」で「戦後75年と

憲法9条」と題して

講演したのは、20

20年2月9日だ。

3月28日には「一

関文化センター」で

の法律事務所の方

業美術事務長の「改

正民法の出版記念講

演会」を予定し、多

くの方から出席のこ

回答をいただいた。

3月16日になつ

て、延期の通知を発

せざる得ない状況に

陥つた。その理由

は、コロナウィル

ス問題は、中国か

ら全世界に広がる

私の身の回りに

投稿

いま、世界中の国々や人々は、国の枠を取り払って、全人類が結束して、コロナウィルスと闘わなければならない。

「コロナウィルスは、一人一人の人間が、国とは何か」「国は絶対に必要か」「戦争とは何か」「武力とは何か」「武力は絶対に必要か」「9条とは何か」「9条は絶対に必要か否か」などを考えてみる、いいチャンスを提供してくれた。

一人一人が、このような問題を考えてみてほしい。人類や地球にとって、国も戦争も武力世界にない。それを世界にさ

きがけ宣言した日本国憲法9条は人類にとって、絶対に不可欠であり、9条は全人類の共通の基本原則であり、世界憲法とならなければならないものである。

その思いで、これまで『新・憲法の心』戦争の放棄』シリーズ第2巻を発刊してきた。

に、真の防衛とは何かを考えるチャンスを与えてくれた。何年か前に「エイリアン」と言う、人類と異星人との闘いを描いた映画があった。あれは、架空の話ではあるが、ウィルスとの闘いは、天然痘、スペイン風邪、SARSなど過去にもあった。未来

さとともに、そんなことをしている時でないことに、気づかせてくれた。武力は人類が人類を殺す道具で、異人類と闘う手段とはならないことを認識しなければならぬ。核兵器を使用して、コロナウィルスと闘うことなどできない。核兵器など異人

てはいない。だが、それと同時に、自国の核兵器を全廃しなければならぬ。そんな極めて素朴で誰にでも分かる真理を、トランプさん、習さん、金さん、安倍さん、そして、全政治家の皆さん、政治家を志す皆さんに特に知ってほしい。そして、国民一人一人にも知ってほしい。こんなわかりやすいことを、もう一度頭に叩き込んでほしい。

表面的な知識はあるが、ものを深く考えない人が世界の指導者にも、政治家にも、各国の国民にも多すぎる。考えない人間が地球上に溢れているような気がして恐ろしい。私は、これまで拙著『新・憲法の心』で、「戦争は、国と国とが、武力を持つて争うことだから、国をなくし、世界国家とか、世界連邦というシステムをつくるべきだ」と強調してきた。

コロナウィルスの人類に対する攻撃には、アメリカも中国も北朝鮮も日本もなし。国の枠を取り外して、これに対抗しなければならぬということは、どの国の指導者だとしても論はないだろう。

もって考えて

コロナウィルスと9条

②

千田 實

コロナウィルス問題は、誰にとっても歓迎すべきことでないことは、言うまでもない。だが、全人類が一致協力して、コロナウィルスと闘うという姿勢は、歓迎すべきことである。コロナウィルス問題はこれまでとは異なる次元で、人類

にもあり得る。現にいまその闘いの最中にある。コロナウィルスは、人類と異なる相手という意味では、エイリアンと同じ異人類だ。

コロナウィルスの出現は、地球上の全人類が、戦争という、人類と人類とが殺し合うことの虚し

類には何の効果もない。それを使ったら、人類自身が滅びるだけだ。そんなものは、人類にとって、百害あっても一利もないものであることは、多言を要しない。北朝鮮やイランに核を持たせまいとするのは、間違っ

てはいない。だが、それと同時に、自国の核兵器を全廃しなければならぬ。そんな極めて素朴で誰にでも分かる真理を、トランプさん、習さん、金さん、安倍さん、そして、全政治家の皆さん、政治家を志す皆さんに特に知ってほしい。そして、国民一人一人にも知ってほしい。こんなわかりやすいことを、もう一度頭に叩き込んでほしい。

表面的な知識はあるが、ものを深く考えない人が世界の指導者にも、政治家にも、各国の国民にも多すぎる。考えない人間が地球上に溢れているような気がして恐ろしい。私は、これまで拙著『新・憲法の心』で、「戦争は、国と国とが、武力を持つて争うことだから、国をなくし、世界国家とか、世界連邦というシステムをつくるべきだ」と強調してきた。

コロナウィルスの人類に対する攻撃には、アメリカも中国も北朝鮮も日本もなし。国の枠を取り外して、これに対抗しなければならぬということは、どの国の指導者だとしても論はないだろう。

コロナウィルス問題は、誰にとっても歓迎すべきことでないことは、言うまでもない。だが、全人類が一致協力して、コロナウィルスと闘うという姿勢は、歓迎すべきことである。コロナウィルス問題はこれまでとは異なる次元で、人類

にもあり得る。現にいまその闘いの最中にある。コロナウィルスは、人類と異なる相手という意味では、エイリアンと同じ異人類だ。

コロナウィルスの出現は、地球上の全人類が、戦争という、人類と人類とが殺し合うことの虚し

類には何の効果もない。それを使ったら、人類自身が滅びるだけだ。そんなものは、人類にとって、百害あっても一利もないものであることは、多言を要しない。北朝鮮やイランに核を持たせまいとするのは、間違っ

てはいない。だが、それと同時に、自国の核兵器を全廃しなければならぬ。そんな極めて素朴で誰にでも分かる真理を、トランプさん、習さん、金さん、安倍さん、そして、全政治家の皆さん、政治家を志す皆さんに特に知ってほしい。そして、国民一人一人にも知ってほしい。こんなわかりやすいことを、もう一度頭に叩き込んでほしい。

表面的な知識はあるが、ものを深く考えない人が世界の指導者にも、政治家にも、各国の国民にも多すぎる。考えない人間が地球上に溢れているような気がして恐ろしい。私は、これまで拙著『新・憲法の心』で、「戦争は、国と国とが、武力を持つて争うことだから、国をなくし、世界国家とか、世界連邦というシステムをつくるべきだ」と強調してきた。

コロナウィルスの人類に対する攻撃には、アメリカも中国も北朝鮮も日本もなし。国の枠を取り外して、これに対抗しなければならぬということは、どの国の指導者だとしても論はないだろう。

(弁護士、一関市)

投稿

国の枠を取り外して、世界が人類が一致団結して立ち向かわなければならないコロナウイルス問題。それに気付かないのか、トランプ大統領は「中国ウイルス」などと言って、国と国との争いの原因にしようとしているが、これには、あきれる。

コロナウイルスと9条

あきれる返る

③

調し、貿易摩擦問題などを引き起こして来た。コロナウイルス問題まで、国と国の摩擦の、原因としかねない発言を繰り返している。この人の、このような人間性に大きな問題がありそうな気がする。そういうトランプ

が国の指導者であることにあきれる返る。アメリカにべつたりの安倍首相に不安を感じ、そんな安倍首相を、長期閣内本のトップに置いている、日本国民にもあきれる返る。私たちは、このアメリカ人の

中国人旅行者のマナーの悪さがよく報じられている。自分さえよければ、他人はどうなってもいいなどと言う考え方が、マナーの悪さとなり、戦争の原因となるのだ。私たち日本人は、マナーの良さが世界

統領も習国家主席も安倍首相も、あきれるレベルと言わなければならない。この人たちは「少欲知足」と「利他欲」を知ってほしい。安倍政権を長期政権者にして、日本国民も一面では、安倍首相に似ている。物質的豊かさ、便利な生活を第一と考えている。お祭り騒ぎや、イベントなどの興味本位の生き方を好んでいる。

オリンピックに浮かれたり、カジノを開こうとしたり、原発の再稼働を許したりしている。国民の分のこのように考える心によってつくられた、支えられているのだ。この9条の心から言えば、トランプ大

でいるか疑問だ。物欲や名譽欲に囚われ「人間はいかに生きるべきか」などというところまで、頭も心も働いていないのだ。安倍首相も、それにくみする政治家も、そして国民も、深く物事を考えない生き方に慣れてしまっている。「戦争は、国と国とが武器を使って争うことだ」ということを深く意識すれば「国という枠を取り外せば、戦争はなくなると」という結論に達するはずだ。そうい

え、気が付かない生き方をしている。だから北朝鮮が、中国が攻め込んできたら、武力で対抗する以外に方法はない。など、短絡的な結論となる。もっと物事を根本から深く考える習慣を身に付けなければならない。国の指導者も、その指導者を生み出している国民も、あきれる返るような根本的問題をいしている。それは、人間の幸せが物質的に恵まれ、便利な生活でできればそれで足りるものではなく、この世に生まれて、楽しい一生を送れるということにある。そのことに政治家も国民も気づいていない気がする。トランプ大統領にも安倍首相にも、そしてそれを支持している国民にも心がなく、哲学がなさすぎる、あきれる返る。(弁護士・一関市)

投稿

私は、これまで戦争をなくす方法は、「少欲知足と利他欲」という心の持ち方」と「国」という枠を取り除き、世界国家とか世界連邦にするシステム（仕組み）の二つが不可欠であると主張してきた。

この考え方に對し、本気で向き合っている政治家や国民は、どれほどいるか。パソコンやスマホを操作するだけではなく、自分の頭で、自分の心で向き合い、自分の言葉で、自分の体で行動してほしい。

コロナウィルスは今こそ、日本国民に深くものを考えるいい機会を与えた。人間が、幸せな一生を過ごすには、どうしたらよいのか、ということを考えてほしい。

い。あなたも私も、せっかくなの世に生まれたのだから、互いに充実した楽しい人生を全うしたい。そのためには戦争は絶対にしてはならない、させてはならない、そうするためにはどうしたらよいのかを考えて、考えたら自分のやれることを行動に移してほしい。

戦後75年間、日本は戦争に巻き込まれず、戦争で一人の日本人も、一人の外国人も殺さずに済んでいることのありがたさをかみしめ、それがなぜ実現できているのかを考え、憲法9条の真の価値に思い至ってほしい。

その9条を改定しようなどと考えている安倍首相や、それに賛同するような輩に對し、怒らなければならぬ。その怒りをもって、行動しなければならぬ。

その行動は、一人一人がやることをやることだ。

安倍首相が、9条を改定しようという考えを示したことに對し怒った、日本を代表する9人の文化人が、9条を守る会を立ち上げた。

その「9条の会アピール」には、次のように述べられている。

「くことが必要です。それは、国の未来の在り方に対する、主権者の責任です。日本と世界の平和な未来のために、日本國憲法を守るという一点で手をつなぎ、「改憲」のくわだてを阻むため、一人ひとりができる、あらゆる努力を、いまずぐ始めることを訴えま

す」

でほしくて、こんな駄文を100冊以上も発刊し続けている。

「お前は何様だ」とか「思い上がってない人」が多すぎる、というべきかもしれない。考え、怒り、やれることをやる、それが求められている。一人一人の行動が、人類を救うのだ。

日本国民は、物質的、経済的に豊かで、便利な生活を送っているから、これで満足だ、これからもうこういう状態が続くだろうと、安易に思い込んでいる人が圧倒的に多い。能

か。一人一人が胸に手を当てて、もう一度考えたい。

あの人たちの幸せな生活は、津波に原発が壊れたただけで崩壊した。日本中にある原発がドローンや無人飛行機などで攻撃されたら、日本人の幸せな生活はどうなるか。住居場所がなくなる。もう少し考え、そして怒り、行動してほしい。

コロナウィルスと9条

④

行動しなければならぬ

千田 實

「私たちは、平和を求めた世界の市民と手をつなぐため、あらためて憲法9条を激動する世界に輝かせたいと考えます。そのためには、この国の主権者である国民一人ひとりが、9条を持つ日本國憲法を、自分のものとして選び直し、日々行使してい

怒りが湧かないといふのは、深くものを考えていないからである。私は9条を改定しようとしている安倍首相はもとより、それに従う政治家に心の底から怒っている。

彼らを国会に送り出している、日本国民にも怒りを感じている。それを分かっ

てほしくて、こんな駄文を100冊以上も発刊し続けている。

「お前は何様だ」とか「思い上がってない人」が多すぎる、というべきかもしれない。考え、怒り、やれることをやる、それが求められている。一人一人の行動が、人類を救うのだ。

日本国民は、物質的、経済的に豊かで、便利な生活を送っているから、これで満足だ、これからもうこういう状態が続くだろうと、安易に思い込んでいる人が圧倒的に多い。能

か。一人一人が胸に手を当てて、もう一度考えたい。

あの人たちの幸せな生活は、津波に原発が壊れたただけで崩壊した。日本中にある原発がドローンや無人飛行機などで攻撃されたら、日本人の幸せな生活はどうなるか。住居場所がなくなる。もう少し考え、そして怒り、行動してほしい。

コロナウィルス問題で、安倍首相が、小池東京都知事が、日本国民が待ち望んだ、東京オリンピックは延期になった。私は、コロナウィルス問題で世界中がゆれ動いているこの機会に物事を考えなければ、日本国民はほかのままで終わってしまう。一人一人の国民が、自分のできる方法で行動に向けてほしい。

(弁護士 一関市)

投稿

昭和15(1940)年に開催予定の東京オリンピックは、第2次世界大戦が勃発しそうになり、中止となった。これは人類自らがその原因をつくった。令和2(2020)年の東京オリンピックは、コロナウィルスが原因となつて延期となった。今後の感染拡大によつては、1年後にもオリンピックが開催できるかどうか不安だ。特にアフリカや中南米などや政情不安な国、難民キャンプなどで感染拡大したらオリンピックどころではなさそう

だ。

「人類対人類の闘い」と「人類と異人類の闘い」と言つことに気づいている日本国民は、どれほどいるのか。

人類と人類の闘いは、人類が少欲知足

コロナウィルスと9条

⑤

日本人は天命を受けている

千田 實

と利他欲と言つ心の持ち方と、国という枠を取り除き、世界連邦という仕組みをつくらなくすことができる。人類対人類の闘いを完全になくし、人類が一致団結して、異人類と闘うことによって、異

人類を撃退することになる。

オリンピックは、平和の祭典と言われているが、文字通り、平和でなければできない。平和とは「戦争や社会的混乱などなく、社会の

ない、大きな節目に遭遇してきたよつな気がする。その日本人は、あなたであり、私だ。皆で考えなければならぬ。こんなことを言つと「気が変なのではないか」などと言わ

秩序がなごやかでおだやかに保たれていること(角川必携国語辞典)である。

それに加えて、昭和20(1945)年の広島・長崎の原爆を考えると、日本は、地球規模でものを考えなければなら

れそうだが、私は、これまでの巡り合わせを考えると、「日本人は、よく考えてみよ」と天が命じていると本気で思わ

全く気づかずに、パソコンやスマホなどの、目の前にあることにだけ夢中となり、見えないものを考えることが疎かになっている。何を血迷ったか、アメリカの後押しがあれば権力を握れるという計算があるのか、安倍首相はアメリカにじり寄り、アメリカの意を受け、憲法9条を改定し、日本をアメリカと一緒に、戦争のできる国にしようとしている。

人類規模で、地球規模で、コロナウィルス問題に関し、考え、行動しなければならぬ時である。(弁護士、一関市)

日本人の中にも、物事を考えている人は多くいる。ただ、考える人より、考えない人の方が多かった。安倍長期政権を生み出し、その政権は桜を見る会やトランプ大統領から大量の戦艦を購入するなど目に余る勝手なことをさせているのだ。

そんな国民の中にも考える人がいる。考える日本人の代表が、日本中にいる9条の会のメンバーだ。9条の会のメンバーは、よくものを考え、行動する人たちだ。日本人に命じた天命を自覚し、考え、行動している。

9条の会のメンバーは、日本国憲法9条は、人類史上最高の哲学であることを知り、戦後75年

投稿

間、日本が戦争に巻き込まれなかったといふことの9条の価値を認識し、9条改定を阻止し、9条を守ろうとしている。私が、『戦争の放棄』『シリーズを23巻発行したのは、この「9条の会アピール」と同じ考えによるものだ。』

コロナウイルスと9条

⑥

9条の会を知ってほしい

千田 実

きるとは語ったが、9条の会を立ち上げた9人の呼びかけ人の方々はもうみんな、各地にある9条の会のメンバーは、よく考え、行動している。そのよって9条の会を知らない人がいる。知らない人に知らせることが、私にできることだ。『9条の会ア

いかにおろかなことを、いまというチャンスに知らせたい。9条の会が、どういふことを考えているのか、メンバーの一人である、私の考えを知ってほしい。私と一緒に考えてもらいたい。こんな駄文を書いている。ついでこの間まで

は、トランプ大統領も安倍首相も、北朝鮮のミサイル発射に神経を苛立たせていたが、コロナウイルスが世界中で感染したら、北朝鮮のミサイル発射にあまり奇立たなくなったように見える。人類が本気で関わらなければならない相手は、頭がわかしい。とも思える権力者ではない。戦争にいかして勝つか、などということだけにうつづを抜かしていつ時ではない。戦争などをしていく時代は去った。コロナウイルスという異人類と人間が関わっているが、苦戦している。日本も危なく

各国国民にも考えてもらわなければならない。武力で闘う戦争は、もうしない。決意をしてほしい。人類と人類とが武力で闘っていたら、人類は異人類によって滅び去かねない。コロナウイルス問題だけでなく、地球温暖化問題があり、放射能問題がある。さらに、アフリカで発生したバッタによる食糧危機問題などが頭に浮かぶ。これらの問題を解決しないまま、戦争が起き、核戦争となったら、人類はどうなってしまうのか。

9条の会のメンバーは、そういうことを心配し、9条を守り、9条を世界憲法にしようとする懸命活動している。9条の会の存在を知ってほしい。(弁護士・関市)

投稿

東日本大震災・三陸沿岸巨大大津波の際に「命でん」でん」と語ったおばあさんがいたが、コロナウイルスに感染しないためにも、一人一人が、自分の命は、自分で守るという気持ちで不可欠だ。

「命でん」でん」は、津波の時だけではない。それはどんな場合にも当てはまる。コロナウイルスの問題でも同様だ。

コロナウイルスの感染防止の最も効果的な方法は、いまのところ、国や地方自治体が、感染防止の方法を講じることば当然だが、一人一人が感染者に接触しないことだ。

安倍首相の夫人

命でんでんこ

コロナウイルスと9条

⑦

千田 實

は、著名人と桜を見る集まりに参加していたことが報道されているが、国や東京都が人の集まりを自粛するように呼びかけている時に、行政のトップの立場にある首相の夫人たる者が、このような行動に走るなどと言っ無神経ぶりにはあき

ンバーを垣間見ているとそつうレベルの取り巻き、そつうレベルの夫婦なんだから、だと思ふ他はない。

トランプ大統領は、「コロナウイルスとの闘いは戦争をしているようなものだ」と語ったそうだが、聞いてあることは間違いない。

そんなことに気が付かない夫婦が、日本国のトップにいると思うと不安を覚える。こつう人だから、9条の存在価値に気が付かず、自分の

ら、健康診断を受け、異常が見つかれば治療を受ける。いま、われわれができることは、「他人からうつされればならないし、他人にうつしてはならない」ということを徹底する他はない。人類が一致団結すること、一人一人の自覚が求められる。

過去の歴史を振り返ると、病気に上り怖いのは戦争だ。第2次世界大戦では、地球上では6千万人以上の人が、日本だけでも300万人以上が死んだ。

コロナウイルスでは4月4日現在で、世界中での死に者は5万人超だ。翌5日には6万人を超えた。こつうも怖いが、戦争の怖さを改めて思ふ。戦争にな

らないように国はもちろんだが、人間一人一人が気づかなければならない。

安倍首相や同夫人は、その辺の認識が足りない。政治家も大臣ポストなどが欲しい、安倍政権にすり寄って、9条改定に賛成するような態度を取っている政治家に腹が立つ。そして、そのような政治家を国会に送り出している国民にも腹が立つ。

半分以上が4年制大学を卒業しているこの国の国民は、知識はあるかもしれないが考えることをしない。気づかないし、危機感がない。誰かが何とかしてくるだろうなどと、他人任せすぎるのだ。

(弁護士・一関市)

れ返る。そんなことをしているから、卒業旅行など浮かっている連中も出てくるのだ。

一国の首相夫人という自覚が全くない。気が付かない人の典型だ。桜を見る会での安倍首相夫婦の姿や、集った人のメ

そしてこの闘いは、子供も老人も女性も参戦しなければならぬ。まさに、老若男女を問わず、一人一人の問題でもある。命でんこだ。

子供も老人も女性も、全ての人が戦士なのだ。全人類レベルの問題であると同じ時に、人間一人一人が気付いて行動しなければならぬ問題でもある。

自分の命は自分で守らなければならない、と本気で考えれば、病気に対する対策を立てるのは当然だ。そのため普段か

投稿

戦力は、人を殺す道具だ。人を救う道具ではない。こんな大事でわかりやすいことに気がつかない人物が、世界の指導者面をしているのはおかしい。さて、誰がさせているのか。トランプ大統領を選出したアメリカ国民であり、安倍政権を長期政権とさせている日本国民だ。そのことに、一人一人が気づき、そして指導者の選び方を考えてほしい。今、コロナウイルスを撃退するためには、世界中の知恵と財力を持ち寄って闘わなければならない。軍事費などに金

を使うときではない。トランプ大統領から大量のステルス戦闘機を買い入れた安倍首相の暴挙を許すときではない。軍事費をコロナウイルス対策費用に向けることが、現実的な方法だ。世界各國の軍事費を、コロナ

闘つためには、まず医療費がかかる。医療費は、ワクチンの開発費、治療薬の開発費、人工呼吸器の増産費、専門の病院の建築費などで、世界中で膨大な金がかかることが予測される。

コロナウイルス感

コロナウイルスと9条

⑧

軍事費をコロナ対策費に

千田 實

ウイルス対策費として使用することは、まさに一石二鳥となる。一つは、コロナウイルスを撃退することになり、二つには、戦争の放棄、戦力の不保持が実現されることになる。

コロナウイルスと

染拡大を防止するため、世界中の国で外出禁止が続出している。これでは仕事にできない。経済活動ができない。どここの国も、経済的に苦しくなるのは目に見えている。

既に、日本でも事業継続ができない事業所が出てきた。国民の経済生活が、成り立たなくなること

が必要だ。しかし、生きていくためには食わなければならない。その金も必要だ。いまはこの国も金を出し惜しんでいる状況ではない。世界中の国という

国が、金を出し合って、コロナウイルス対策基金を立ち上げなければならない。それぞれの国で、その財源をどうするかなどと言議論など

している間に、コロナウイルスはどんどん拡大していく。すぐに各国は、コロナウイルス対策費を国連などに出し合って、その基金を使って、世界をあげて、人類を助けて、コロナウイルスという異人類との闘いに勝利しなければならない。そのためには、い

まず、世界中の国は、人類同士が武力を使つて闘つ戦争の愚かさを気づかせてくれたという意味で、人類に反省を促してきている気がしてならない。

神といつか、天といつか、言い方は分らないが、誰かが「もういいかげんに気づけよ」と言っている気がしてならない。

今こそ、日本国憲法9条の「戦争の放棄」と「戦力の不保持」の規定は、世界中の国々の憲法に取り入れられなければならない。

コロナウイルスが人類を襲撃したことによって、人類は一致団結して、これを撃退しなければならぬ状況となった。コロナウイルスを歓迎するなどと言つて、不謹慎な気持ちで、コロナウイルスは毛頭ないのだが、コロナウイルスという異人類の、人類に對する不意の攻撃

(弁護士一関市)

朝日新聞の4月11日の「天声人語」欄には、これまで私が話してきたことに近いことが書いてあった。

「コロナに対処するため一時的な世界政府を樹立するほかない」との提言は、我が意を得たりで、これこそ天の声だ。9条の「戦争の放棄」と「戦力の不保持」を世界中が取り入れる大きな第一歩となる。世界政府の樹立は、一時的である人類史上画期的なこととなる。

国際連合は、昭和20(1945)年に成立した。第2次世界大戦の反省の下に、世界の平和と守り、各国の友好を深めるための国際的な

投稿

組織となった。しかし、第2次世界大戦に勝利した、大国が持つ拒否権の行使が、発端で、足並みがそろわず、世界は一つというところにはほど遠い。いままた、大国アメリカと中国は、コロナ問題を巡っても対立の様相を呈して

天の声を語る

コロナウィルスと9条

⑩

千田 實

て、われらの安全と生存を保持しようとした。宣言し、9条をうたった。9条の「戦争の放棄」と「戦力の不保持」は、諸国民がこれに続くことを期待して世界の魁(先駆け)となったのだ。戦後75年が経った

に考えているからだ。だが、いまコロナウィルスという異人類の襲撃によって国境、国民、老若男女関係なく人類は、異人類と闘わなければならぬ状況に陥った。ここにきて諸国民は、公正と信義のも

語欄は「いまの難局を乗り切るには、WHOとは違って、強制力を持つ臨時の政府が欠かせない」との元英首相の提言を紹介し、「何とも壮大な提案だが、米中の不仲などを見れば実現はむずかしいだろう」と語っている。この見解は、現実的であることは十分に理解できる。だが、天下の朝日新聞の、それもこれまで文章を書く上での参考にさせてもらった、天声人語欄とも思えない弱気な発言で、いささかがっかりした。

天声人語欄は、天の声を語るものだ。「米中の不仲は、直ちに止め、米中共に9条をとり入れなければならない」と、声を大にしなければならぬ。現実には流されることなく、理想を追い求めなければならない。それが天の声だ。コロナウィルスとの闘いには、国の枠など取り外し、世界で唯一の強制力を持つ政府を樹立しなければならない。そのため、各国は憲法に「戦争の放棄」と「戦力の不保持」を掲げなければならない。新型コロナウイルスはいったん終息したとしても、新型コロナウイルスが襲撃してこないとは断言できない。世界中が戦争を放棄しなければならぬ。いままさその時だ。誠にいまがましだが、「コロナウィルスと9条」と題して、天の声を語ったつもりだ。終わります。(一関市、弁護士)

いっしょに、考えてみませんか？



新型コロナウイルス対策のため、三密を回避しなければならないと言われています。災いを転じて福とするため、同じ問題を、いっしょに考えてみませんか。体は離れていても、いっしょに考えるという意味では、より密な関係が構築できそうです。

問題は、次の3点です。

- ① 武器購入資金に、税金を使っていいのでしょうか。
- ② 新型コロナウイルス対策費に、税金を使っていいのでしょうか。
- ③ 働かない人の生活費に、税金を使っていいのでしょうか。

皆さま、それぞれのお考えをお聞きたいのです。

いま私は、税金に関する本を書いています。この3点の問題を考えるだけで、税金の問題はもとより、憲法が保障している基本的人権とは何なのかが、分かってきそうな気がするのです。

資本主義国家と共産主義国家との異同も、それぞれの長所と短所も、そして、福祉国家とはどういうものかも分かってきそうな気がするのです。

憲法29条は「財産権は、これを侵してはならない」と規定する一方で、30条では「国民は、納税の義務を負う」と規定しています。この関係をどのように考えたらよいか、ということを考えてみたいところです。

憲法は、国民の財産権を保障しながら、国民の納税の義務を定めた意味を改めて考えてみることも大事なことです。いい機会ですから、いっしょに考えてみましょう。

私の考えは、近いうちに『大衆法律学 新・憲法の心』の『国民の権利及び義務』シリーズの第3巻『納税の義務と税金の使いみち』において述べます。

皆さまの考えと近いでしょうか。それとも遠いでしょうか。楽しみです。